〈広報広聴課〉

ピックス

市公式フェイスブックに掲載した 市内の話題・出来事をお届けします。

 \bigcirc



市公式フェイスブックで よりタイムリーな情報を

https://www.facebook.com/city.ichikawa

6.666人(5月24日現在)

市川市役所フェイスブック

検索



そろばん先生、2度目の銅メダル 5月24日

ベンチプレスの世界選手権で、市内 のそろばん塾で先生をしている鈴木重 成さんが見事銅メダルに輝きました。

鈴木さんが出場したのは、4月18日 からデンマークのロドビー市で行われた

2016世界ベンチプレス選 手権大会の、「マスターズ 1」(40~49歳)83kg級の クラス。232.5kgを安定感 ある動きで持ち上げ、初出 場で銅メダルを獲得した 2014年の世界大会に引 き続き、2度目の表彰台に 立ちました。

今後の目標について伺う と、「来年は金メダルを取り ます」と強く言い切り、「2年

後の世界大会は千葉県での開催が予 定されています。地元での出場を金メダ ル連覇で飾りたい」と熱く語ってくれまし た。今後のさらなる活躍に期待が膨らみ

♪ いいね!



親子で挑戦、梨づくり

5月15日

5月6日

信篤公民館の主催講座 「親子で『市川の梨』栽培に 挑戦」が行われ、大町の梨 畑で、おいしい梨をつくるた めに余分な実を間引く「摘果 作業」を、15組の親子が体 験しました。この講座は全3 回で、大野町の梨農家、中 村宜由さんの協力の下、梨 の花に受粉をさせる「交配 作業」から、今回の「摘果作 業」、8月の「収穫体験」まで、 梨づくりの農作業を親子で

体験します。子どもたちは、自分が受粉 させた結果である小さな実を摘果後も 大切に拾い集め、皮をむいて中を確か めたり、学校の先生や友達に見せるん



だと持ち帰ったりしていました。 さあ、次回はいよいよ収穫です。お父

さんお母さんと一緒に手をかけ見守って きた梨は、いっそうおいしいことでしょう。

山古志から学ぶ、大災害を乗り越える力 5月7日

「防災特別講演会」を開催しました。 講師の長島忠美 復興副大臣は、 2004年に起きた新潟県中越地震の 際の山古志村(現長岡市)村長であり、 被災状況を始め、全村避難、復興まで の実体験をわかりやすく語りました。

また、質疑応答で市川市へのアドバ イスを求められると、「都会は声が届く範 囲に誰かがいる。物理的な距離の近さ を心の距離に変えれば、地域の大きな 力になるはず。気持ちの結びつきを大 切にしてほしい」と答えました。

みなさんもいつ起こるかわからない災

害に備えて、備蓄や家族間の連絡方 法などを確認してください。



市役所が変身

市川市役所の建物のはずが、看板 には「国民航空オペレーションセン ター」。

これは、連続ドラマ 「沈まぬ太陽」のロケ に、市川市役所の庁 舎が使われた時の写 真です。

市役所の庁舎は、 建て替えのために来 年度に取り壊される ことが決定していま す。もうすぐ消え行く

この建物が、有名な小説のドラマ映像 に刻まれることは感慨深いものです。



盛うらかわ

広報広聴課に異動して、約2カ月。今 回のパスポートセンターの特集記事を 担当しました。特集面作成にあたって は、広報発行日の1カ月半以上も前か ら、担当課との打ち合わせや、慣れない

一眼レフカメラでの撮影、何度も赤ペ ンを握りしめての校正など、四苦八苦 しながら紙面づくりを進めてきました。 市民目線でのわかりやすい紙面を心掛 けないといけませんが、つい先入観が

入ってしまい、なかなか難しいもので す。今回の広報を見て、パスポートセン ターの担当課が悲鳴を上げるくらい、 多くの申請者に来てもらいたいと、ひ そかに思っています。

市川市住民基本台帳人口(4月30日現在) ▶ **479,523人 男** 243,852人 **女** 235,671人 234,877世帯



株式会社 ガーデンエクスプレス

今すぐ **043-239-9801 無料**

千葉県稲毛区作草部町 641-12 http://www.gex4128.co.jp







市では経費削減のため有料広告を掲載しています。なお広告内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。詳しくは広告主にお問い合わせください。

〒163-0905 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリスビル

